

抗 PHLDA3 抗体, マウスモノクローナル (4B6)

商品コード	71-195
容量	100 µg
保存	-20°C
濃度	1 mg/ml
バッファー	PBS- with 50% glycerol
純度	ハイブリドーマ培養上清から proteinA で精製した
抗原	ヒト PHLDA3 タンパク質 N-末 1-31 にあたる合成ペプチド
アイソタイプ	マウス IgG2b κ
反応性	ヒト PHLDA3 タンパク質。他の種は試していない
特記事項	N/A
アプリケーション	1.ウエスタンブロッティング 2.免疫蛍光染色 (1/1,000)
背景	PHLDA3 (Pleckstrin homology-like domain family A member 3) は小さな PH (Pleckstrin homology) domain-only protein (ヒトでは 127 アミノ酸から成る)で、脊椎動物ではよく保存されている。近年、PHLDA3 はがん遺伝子である Akt の抑制遺伝子であることが明らかになった (文献 2)。また PHLDA3 は p53 によって発現が誘導されるタンパク質である。これらより、PHLDA3 はがん抑制遺伝子と考えられる。PHLDA3 はまた、足場非依存性細胞増殖を抑制することがわかっている。 <i>PHLDA3</i> 遺伝子はヒトの内分泌腫瘍においてしばしば消失していることより、PHLDA3 は内分泌腫瘍マーカーとして臨床応用できる可能性がある。
Data Link	UniProtKB Q9Y5J5 (PHLA3_HUMAN)
文献	この抗体は文献 2 に用いられた。 1. Frank D <i>et al</i> (1999) "A novel pleckstrin homology-related gene family defined by Ip1/Tssc3, TDAG51, and Tih1: tissue-specific expression, chromosomal location, and parental imprinting." <i>Mamm. Genome</i> 10 :1150-1159 PMID: 10594239 2. Kawase T <i>et al</i> (2009) "PH domain-only PHLDA3 is a novel p53-regulated repressor of Akt." <i>Cell</i> 136 : 535-550 PMID: 19203586
※本製品は研究用です。診断および軍事目的に使用することはできません。	

画像: 71-195 抗 PHLDA3 抗体、マウスモノクローナル(4B6)

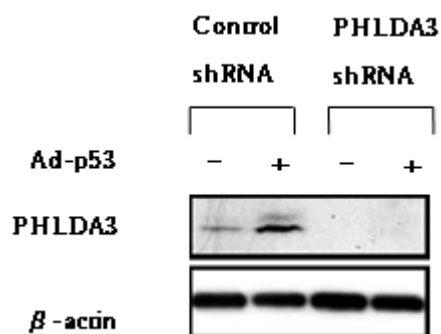


図1 4B6 抗体を用いたウエスタンブロッティングによって PHLDA3 タンパク質の発現を調べた。

PHLDA3 タンパク質は MDA-MB-468 細胞において Ad-p53 によって誘導された (左図)。

PHLDA3 の発現は PHLDA3 をターゲットにした shRNA によって抑制された (右図)。

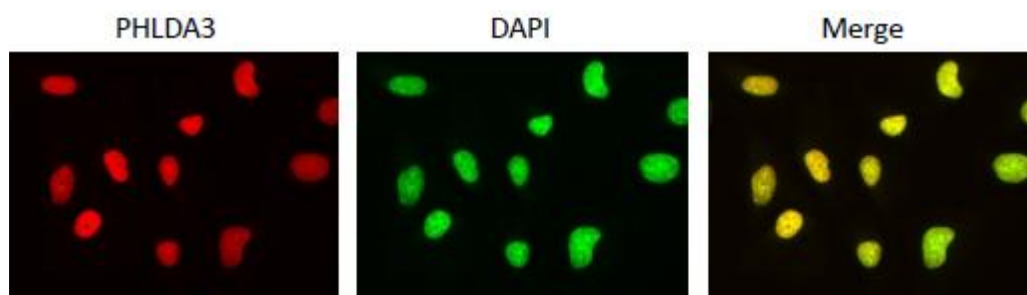


図2. PHLDA3 タンパク質の HeLA 細胞での免疫蛍光染色：核局在

1. 細胞は 4%パラホルムアルデヒドで固定後、0.25%Triton X-100 で 10 分間透過処理した
2. 抗体の非特異的結合をブロックするために、1.5%BSA を含む PBS-で 30 分間細胞をインキュベートした。
3. 細胞を 1%BSA を含む PBS で 1/1,000 に希釈した抗 PHLDA3 抗体とともに 4°Cで一晩インキュベートした。
4. 1%BSA で 1/1,000 に希釈した Alex488 結合ヤギ抗マウス IgG 二次抗体で、室温で 1 時間細胞をインキュベートした
5. 核(DNA)は DAPI で染色した。